

2017 年度 小委員会活動成果報告

(2018 年 2 月 3 日作成)

小委員会名	CFT 構造計算規準小委員会		主 査 名：津田恵吾 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鋼コンクリート合成構造運営委員会)		委員長名：塩原 等 主 査 名：堺 純一
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2018 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	『コンクリート充填鋼管構造計算規準・同解説』を執筆および刊行する。 初年度：『コンクリート充填鋼管構造計算規準・同解説』の各章の執筆と審議を行う 2 年度：同上 3 年度：同上		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：津田恵吾 (北九州市立大学) 幹事：福元敏之 (鹿島建設株), 藤永隆 (神戸大学) 委員：池田憲一 (東京理科大学), 伊藤倫夫 (センクシア株), 荻野雅士 (株日本設計), 河野昭彦 (日本建築総合試験所), 時野谷浩良 (株大林組), 蛭川利彦 (九州大学), 藤本利昭 (日本大学), 松尾真太郎 (九州大学), 吉貝 滋 (鹿島建設株)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2017 年度予算	160,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 各章の構成については審議が終わっているが、執筆は進行中である。 当初活動計画 (2017 年度に刊行および講習会) より遅れているが、初年度の委員会での討議により、長く使える規準とするため、1) 長周期地震動に対する柱材の保有性能の実験データの蓄積, 2) 柱材の変形能力の再評価, 3) 耐力評価式の見直し, をすることになったためである。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 特になし